

第1学年 国語科学習指導案

児童 4名

指導者 木村 律子

1 単元名 せつめいする文しょうをよもう

中心学習材名 じどう車くらべ (光村図書 1年下)

2 単元について

(1) 児童の実態

これまで子どもたちは、説明文を読む学習において、事柄の順序を考えながら内容の大体を捉える学習をしてきた。「くちばし」の学習では、挿絵と文を照らし合わせながら、書かれている事柄の大体を読み取ることや「問い—答え」の構成を学び、その問いに対する答えを確かめながら読み進めた。その学習をいかし、「うみのかくれんぼ」の学習では、文末表現を手掛かりに「問い」を見付けたり、段落を比べて読んだりした。これらの学習を通して、同じところや違うところを見つけたり、共通する文章表現に着目したりしながら、事柄の順序に従って内容の大体を読むことができるようになってきている。

しかし、説明されている事柄を正確に捉えることや、問われている言葉の意味を理解して、文章中から語句を選び出すのは難しい。また、話したいことがありながらも、それを言葉に表すことができず、発表が止まってしまう場面も多く見られる。

(2) 学習材について

本単元「せつめいする文しょうをよもう」では、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることを主たるねらいとしている。

中心学習材「じどう車くらべ」は、自動車という身近な題材について説明された文章である。「それぞれのじどう車は、どんなしごとをしていますか。」「そのために、どんなつくりになっていますか。」という2つの問いの文に対して、身近なものから三つの事例を挙げながら説明し、説明の順にも「しごと」→「つくり」という一定の型が見られる。文章全体の構成は、第一のまとまりが「話題・問題提起」、第二から四のまとまりは、「バスやじょうよう車」「トラック」「クレーン車」について、「しごと」「つくり」の二点の関係を説明する形で書かれている。身近な自動車について、同じ形の説明が繰り返されることで、「しごと」「つくり」の因果関係に気付き、自動車に対する新しい見方を身に付けることができる文章である。児童にとって興味・関心をもちやすい題材であることから、説明文を読む楽しさを味わいながら、調べたり表現したりする学習活動に発展できる学習材である。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、次の三点に留意していく。

一点目は、本単元で育成を目指す資質・能力を明確にした単元構想である。本単元で育てたい資質・能力は、「説明の順序に気をつけながら読む」である。構造と内容の把握の段階では、児童と教材文の出会いの際に、題名である「じどう車くらべ」に着目させる。題名からどのような内容が書かれているのかを予想させることで、学習材への興味・関心を引き出し、予想と比べるという目的をもって朗読CDを聞かせる。その後、「がくしゅう」のページを活用し、「じどう車カード」に出合わせ、自動車の「しごと」と「つくり」をカードにまとめるというゴールを確認する。疑問に思ったこと、よくわからない言葉を出し合い、一人ひとりが目的意識をもって読むことができるようにする。精査・解釈の段階では、音読することによって取り出すことができる情報(書かれている内容)を確かめる。「しごと」と「つくり」が書かれているところに気付かせるために、分担して読む。「しごと」に関しては「～しています」という語尾に着目して読み取っていく。「つくり」に関しては、「そのために」の後に書かれ、二文に分けて書いて説明している。

「しごと」と「つくり」を捉えるために、「しごと」には赤線、「つくり」には青線、二つをつなぐ接続語「そのために」には緑線を引き、文章構成に気付くようにする。単元の終末には、これまでの学習をふり返し、どのように「しごと」や「つくり」が書かれていたのかを確かめ、自分で文章を考える。




二点目は、考えを深める工夫である。精査・解釈の段階では、互いの考えを交流する場(教科リーダー進行)を設定する。来年度からの複式指導に向けた準備である。学習課題に対する友達の考えと自分の考えを比べて、同じ時には「〇〇さんと同じで～です。」、違う時には「(どうして・どこから)そう考えたのですか。」と相手に返すこととし、何に注目して読み取ったかを明確にする。その交流を受けて、「そのために」という言葉でつながれている「つくり」は、「しごと」の内容に合う「つくり」が選択されて書かれていることに気付くような発問を計画し、なぜその「つくり」にする必要があるのか考えるようにする。そして、「しごと」と「つくり」の関係を説明させる活動を取り入れていくようにする。こうした対話を通して、「しごと」と「つくり」の関係について理解を深める。

三点目は、主体性につながる自己評価の観点である。単元末にこの学習でどんな力をつけることができたのかを振り返る場を設定する。「じどう車くらべを読む時に、どんなことに気を付けましたか。」等、本単元の資質・能力のほかに、研究主題に関わって主体的な学び方、発展読書についても振り返る。本単元で身に付けた力を、次の単元「じどう車ずかんをつくらう」で自動車図鑑を作る活動につなげていく。

3 育てたい資質・能力



たいせつ

<p>◎文章の中の重要な語や文を考えて選ぶこと</p> <p> 大事な言葉を 確かめながら読む うみのかくれんぼ</p>	<p>◎事柄の順序に注意しながら、文章の中の重要な語や文を考えて選ぶこと</p> <p> 説明の順序に 気をつけながら読む じどう車くらべ</p>	<p>◎文章の中の重要な語や文を考えて選ぶこと</p> <p> 特徴の違いなどを 比べて読む どうぶつの赤ちゃん</p>
--	---	--

4 言語活動 事物の仕組みを説明した文章を読み、分かったことをまとめる。

5 単元の指導計画

(1) 単元の見どころ

〔知識及び技能〕	〔思考力、判断力、表現力等〕	〔学びに向かう力、人間性等〕
<p>① 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 (2) ア)</p>	<p>① 事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。 (C (1) ア)</p> <p>② 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 (C (1) ウ)</p>	<p>① 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>① 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 (2) ア)</p>	<p>① 「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 (C (1) ア)</p> <p>② 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 (思C (1) ウ)</p>	<p>① 進んで事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉え、学習課題に沿って、分かったことをまとめようとしている。</p>

(3) 単元指導計画・評価規準 (全 7時間)

次	時	学習過程	○学習活動 学習課題 着目する言葉	評価規準及び評価方法
一	1	構造と内容の把握	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車の種類について、知っているものを話し合う。 ○ 題名について考える。 ○ 朗読CDを聞き、出てきた自動車や、説明されていたことについて確かめ、感想を交流する。 ○ 『じどう車の「しごと」と「つくり」をまとめよう。』の学習課題を設定し、P32「がくしゅう」をもとに学習の進め方を確認する。 	<p>[主体的に学習に取り組む態度] <u>発言</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな自動車には、それぞれ「しごと」「つくり」があることに興味をもち、学習課題に進んで取り組もうとしているか確認する。 <p>[知識・技能] <u>発言</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」に合った「つくり」が説明されていることに気付いているか確認する。 <p>[思考・判断・表現①] <u>発言・記述</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの自動車の説明を読み、その「しごと」と「つくり」を捉えているか確認する。
	2		<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章全体の構成を捉える問いの文を確かめる。 ○ 「しごと」「つくり」の意味を確かめる。 ○ 出てきた自動車を確かめる。 ○ 疑問に思ったこと、よく分からない言葉を出し合い、学習計画を立てる。 	
二	3	精査・解釈	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を読み取り、カードにまとめる。 <p><バスやじょうよう車></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」をじどう車カードにまとめよう。</p> </div> <p>じょうよう車 人のせてはこぶ させき ひろく つくってあります そとのけしき よくみえる ~ように 大きなまど たくさん あります</p>	<p>[思考・判断・表現②] <u>発言・記述</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」や「つくり」にあてはまる言葉や文を書き抜いているか確認する。
	4		<p><トラック></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>トラックの「しごと」と「つくり」をじどう車カードにまとめよう。</p> </div> <p>にもつ はこぶ うんでんせき ひろい にだい なっています おもい タイヤ たくさん ついています</p>	
	5		<p><クレーン車></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>クレーン車の「しごと」と「つくり」をじどう車カードにまとめよう。</p> </div> <p>おもい つり上げる じょうぶな うで のびたり うごいたり ~たり~たり つくってあります 車たい かたむかない ~ように しっかりした あし ついています</p>	
	6		<ul style="list-style-type: none"> ○ どんな説明の順序になっているのか、どんな順番で自動車が登場しているのかを話し合う。 	
三	7本時	考えの形成	<ul style="list-style-type: none"> ○ はしご車の「しごと」「つくり」を考え、カードにまとめる。 <p><はしご車></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>はしご車の「しごと」と「つくり」をまとめよう。</p> </div>	

6 本時の指導計画

(1) 目標

○はしご車の資料から、その「しごと」と「つくり」を捉えることができる。

(2) 評価規準

・はしご車の資料から、その「しごと」と「つくり」を捉えている。

[思考・判断・表現]

(3) 着目させたい言葉

本時のねらいは、はしご車の挿絵を手がかりに「しごと」とそれに合った「つくり」を見つけてまとめることである。

本単元の資質・能力「説明の順序に気をつけながら読む」を育てるために、次の言葉に着目させる。

しごと そのために つくり (挿絵)

(4) 展開

段階	学習活動 ■主発問 □ 発問 ・指示	期待する子どもの反応	・留意点 【評価】
つかむ	1 これまでの学習をふり返る 2 学習課題を把握する	○バスやじょうよう車, トラック, クレーン車	・前時までを想起させる。
	はしご車の「しごと」と「つくり」をまとめましょう。		
つかむ	3 課題解決の見通しを立てる □今日は説明する文はありません。「しごと」や「つくり」はどうやって考えますか。 □ はしご車の「しごと」は何ですか。 ・「しごと」をじどう車カードに書きましょう。	○絵を見て考える。 ○今まで学習した車の「しごと」や「つくり」がどのように書かれていたか確かめる。 ○高い所で逃げ遅れた人を助ける。 ○高い所の火を消す。 ○はしご車は、高い所で逃げ遅れた人を助ける仕事をしています。(じどう車カードに記入)	・挿絵を拡大したものを掲示する。
かんがえる	4 自力解決する □「そのために」どんな「つくり」になっていますか。 ・「つくり」の部分を囲んで、書き込みましょう。	○長いはしごがついている。 ○伸び縮みするはしごがついている。 ○車体が傾かないように、丈夫な足が付いている。 ○はしごの先にかごがある。 ○かごにホースがついている。	・はしご車の絵に○を付けて、どんなつくりか書く。 [思考・判断・表現] 発言・記述 ・はしご車の資料から、その「しごと」と「つくり」を捉えているか確認する。
ふかめる	5 深め合う ・見つけた「つくり」を発表しましょう。 ・教科リーダーさんに進めてもらいます。 ○○さん、お願いします。 ○○さんの考えに質問や意見はありませんか。	手立て2 交流のポイント 友達の発言を聞き、相手に返す時のポイントを提示する。 ・同じ時…○○さんと同じです。 ・違う時…(どうして・どこから)そう考えたのですか。 ○はしご。 ○はしごの先のかご。 ○はしごの先のホース。 ○丈夫な足。 ○かごはバスケット ○あしはアウトリガー ○はしごはのびたり、むきをかえたりできる。	・児童が発表したものを短冊に書いて貼る。 ・図鑑から読み取った説明を、短冊に付け足していく。

	<p>■「しごと」をするのに必要な「つくり」になっていますか。</p> <p>・「そのために」を入れて、つなげて読んでみましょう。</p> <p>・はしご車の「つくり」の説明を書きましょう。</p>	<p>○はしご。高い所にいる人を助けるために長いはしごが必要。</p> <p>○はしごの先のかご。高い所にいる人を乗せて助けるために必要。</p> <p>○はしごの先のホース。高い所の火を消すために必要。</p> <p>○丈夫な足。はしごを伸ばしても倒れないようにするために必要。</p> <p>○ビルの上までとどく、ながいはしごがついています。</p> <p>○車たいがかたむかないように、じょうぶなあしもついています。</p>	<p>・はしご車の「しごと」と「つくり」を説明するために、既習の表現を意識できるようにする。 ～つくってあります ～あります ～なっています ～ついています</p>
	<p>6 まとめる</p> <p>・できたカードを読んでみましょう。</p> <div data-bbox="204 831 1141 1137" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例</p> <p>はしご車は、かじのとき、たかいところにいる人をたすけるしごとをしています。</p> <p>そのために、</p> <p>ビルの上までとどく、ながいはしごがついています。</p> <p>車たいがかたむかないように、じょうぶなあしもついています。</p> </div>		<p>・問いの文「はしご車は、どんなしごとをしていますか。そのために、どんなつくりになっていますか。」をみんなで読むことで、カードを発表できるようにする。</p>
<p>ふりかえる</p>	<p>7 ふり返る</p> <p>・「じどう車くらべ」で学習した「しごと」とは、どういうものでしたか。</p> <p><input type="checkbox"/> 「つくり」はどういうものでしたか。</p> <p><input type="checkbox"/> どんな順番で説明されていましたか。</p> <p>・今までの「自動車くらべ」の学習を振り返りましょう。</p>	<p>○車のはたらき。</p> <p>○車についているもの。</p> <p>○仕事のために、車に付いているもの。</p> <p>○「しごと」→「つくり」の順番。</p> <p>○「しごと」「そのために」「つくり」の順番。</p> <div data-bbox="715 1458 1158 1621" style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p>手立て3 ふり返りの観点 事柄の順序に注意しながら、文章の中の重要な語や文を考えて選ぶ（資質・能力）</p> </div>	